

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐみ神前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 22日		~ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		~ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者や保護者様の必要な情報を共有できてます。	面談を通して子供たちの様子や保護者様の困りごとを聞き、職員と共有し子供の活動プログラムに繋がっています。	事業所を通して保護者様同士が話し合える「保護者会」など検討していきます。
2	保育士、社会福祉士、介護福祉士、教員など多職種で対応できています。	療育、活動等 個々のレベルに合わせた環境づくりをしています。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士意見を出し合える場「保護者会」など提供出来ていません。	保護者様同士関われる場を設けていきます。	保護者様も参加できる行事を考えていきます。
2	研修にあまり参加できていません。	研修時間を確保していきたいです。	外部研修が難しいようであれば内部研修を増やし知識や技能を身につけていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はぐみ神前教室 (放課後デイサービス)
------	---------------------

公表日 2026年 3月 13日

利用児童数 2026年 1月 20日 回収数 22

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2	0	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	4	・どのような職員が何人いるか職員案内を頂きたいです。 ・職員の方の入れ替わりが多く、人数が確保されているか不明です。	スタッフ案内については、今後検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	0		床、テーブル、椅子等 消毒を徹底しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	2	0	1		保育士、社会福祉士、介護福祉士、教員等多職種の職員がいる為、子供の特性を考慮し支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	0	・スタッフさんによります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0		ニーズに合わせた計画書を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	0		どのような支援を行っているのか家族様が分かりやすいように記載しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	2	・色々な催しをしてくれたり公園へ連れて行ってくれるので満足しています。 ・体を使った遊びや手先を使った遊び等工夫されています。	子供たちが 日本の行事や四季を体験し感じられるような活動します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	4	15	・公園へ行く事で地域の他のこどもと活動できているのであれば「はい」だと思います。	外出活動で地域の方との交流はあるが、もう少し子供同士の交流を深めていきたいです。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		面談時や送迎時にわかりやすく説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています	9	4	3	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	1	0	0	・よく見てくれていて、子供の特徴を理解してくれています。	日中の様子や本人の状態はメールや連絡帳を通して必ず伝えていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	0		個別支援計画を作成する前に必ず面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0	・いつも親身になって頂いて感謝です。 ・家庭の事情を把握して頂いており助かっています。	常に家族様に寄り添い共感的に支援できています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	4	11		現在は行えていません。今後、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	1		
20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	0	0	・スタッフさんによります。	今後もLINE等活用し早めの対応を心掛けます。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1	1	・もう少しHP（活動様子）を更新してくれるとうれしいです。	ブログの更新頻度を上げ保護者様が活動の様子を確認できるように努めます。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	1	0			
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	1	7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	1		
満 足	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	・先生大好きで喜んで通所させてもらってます。 ・自分の家だと思っている。学校にいけない日もデイには行ってくれます。	引き続き安心して通所して頂けるよう安心安全を徹底します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・いつも楽しみにしています。 ・心を許して通い合っているようには見えます。 公園に行く日を楽しみにしています。	引き続き楽しく通所して頂けるよう色々な活動等提供して頂けるよう努めます。

足 度	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	<p>・普段の支援内容にとても満足していますが学校がある時の支援時間は短くなかなか外出は出来ないと思いますが休み（夏休み・冬休み・春休み等）の間のスケジュールをもう少し詳しく知らせて頂けると嬉しいです。例えば公園に行く日等、寒い日は少し寒さ対策もしてあげたいですし知らないと普段の格好で送り出してしまい靴も活動するにはふさわしくない物を履かせて送り出したりするとケガにつながりかねないかなと考えています。</p> <p>・急な利用の申出にも対応して下さり助かっています。</p>	<p>今後も気づきや連絡する事を怠らない様に努めます。</p>
--------	----	------------------	----	---	---	---	---	---------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はぐみ神前教室		公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・学習室として別室があるところが良いです。	利用者人数や活動によって狭く感じる日もあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼やミーティングの時間を利用し職員同士で話し合う場をなるべく多く設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者による外部評価は実施していないが今後必要に応じて検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	個々に合わせた活動プログラムを設定しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日朝礼で 当日の活動内容や変更などを確認し話し合える場を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		地域の方と交流出来るようなイベント、行事は出来るだけ参加していきたいです。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3			
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		